



1/31 世界大会への出場を市長へ報告 ～バレーボールで日本代表として出場～

▶世界大会での優勝に向けて意気込みを話してくれた江崎さん(左)

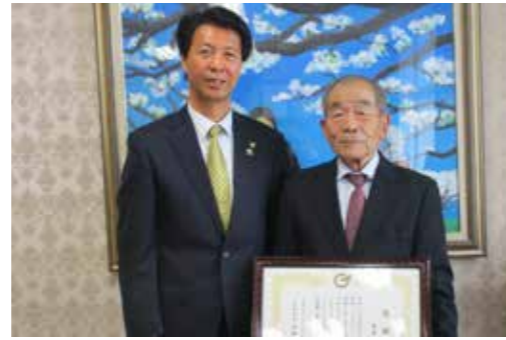


昨年9月に行われたスペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知に出場し、バレーボール競技で優勝に貢献した江崎さんが、世界大会に出場することとなり、市長に報告しました。江崎さんは、「サーブとレシーブをうまくできるよう頑張りたい」と話し、浅田市長は「日本代表での出場は、貴重な経験です。楽しんでプレーして」とエールを送りました。

世界大会は、3月14日から21日までアラブ首長国連邦の首都アブダビで行われます。

2/6 将来を担う子どもたちのために ～子ども未来基金への寄附感謝状を贈呈～

▶今年度は、中学生の英語検定受験料に基金を活用しました



子どもたちが地域の中で健やかに育ち、次世代を担う人材として成長することに役立てる事業を推進する「荒尾市子ども未来基金」に対し、宮本孝一さんから300万円の寄附がありました。宮本さんは、「お金、人、道具の使い方、まちなも企業も人も良くなる。将来を担う子どもたちのために活用して欲しい」と、寄附に至った思いを話しました。

浅田市長は寄附感謝状を贈呈し、感謝の意を伝えました。

1/10 視覚障がい者への支援を継続 ～朗読サークルが厚生労働大臣表彰を受賞～

▶代表の本村さん(右)、安田さん(中)、瀬戸さん(左)



広報あらかや新聞などを朗読し、視覚障がいのある人へ声で伝える活動を34年にわたって行っている「朗読サークルあらかや」が厚生労働大臣から表彰を受けました。

浅田市長から表彰状と記念品を伝達された本村さんは、「必要としている人の利用が増えてほしい」と話しました。設立当初から参加している安田さんは、「何も無いところからのスタートで大変でしたが、これからも続けたい」と話し、今後の活動への意欲を見せました。

1/21・25 荒尾の宝を守りつなぐ ～宮崎兄弟の生家と万田坑で防火訓練～

▶勢い良く放水。実際の火事を想定した緊迫した訓練が行われました



1949(昭和24)年1月26日に法隆寺金堂壁画が火災により焼損したことから、毎年1月26日は文化財防火デーに定められ、全国的に文化財防火運動が行われています。万田坑と宮崎兄弟の生家施設でも、荒尾消防署の協力を得て、通報・初期消火・避難誘導などの防火訓練を行いました。貴重な文化財を後世に継承するため、日頃の予防や点検を心がけることをはじめ、落ち着いて全体を見渡して判断し行動することの大切さを再確認しました。

地域の活動 掲示板

道路美化作業



緑ヶ丘地区協議会

歩け歩け大会



府本地区協議会

ウォーキング大会



井手川地区協議会

チューリップ植栽



一小校区元気づくり委員会

シエスタ 餅つき



桜山げんきかい

クリーン作戦



よかまち中央会

ミニ門松づくり



よかまち中央会

ミニ門松づくり



万田中央地区協議会

1/27 チームが一丸となり、大きく躍進 ～熊日郡市対抗女子駅伝で躍進賞を獲得～

▶荒尾市チームのメンバー。さらなる記録の更新に期待が持てます



熊本市中央区のびぶれす熊日会館を発着とする、熊日郡市対抗女子駅伝に出場した荒尾市チームが、躍進賞を獲得しました。強豪ぞろいの19郡市が競い合う中、昨年の記録を4分27秒縮め、昨年より5つ順位を上げ12位となりました。

熊澤正博監督は、「高校生3人が厳しい区間を走り抜き、チームを引っ張ってくれた。選手の力が上がってきている。受賞を励みに、さらなる順位を目指したい」と選手の奮闘をたたえ、さらなる躍進を決意しました。

1/28 新たな雇用創出の機会へとつなげる ～事業所新設の立地協定調印式～

▶調印式で握手する浅田市長(右)、平井社長(中)、村井局長(左)



コールセンターの業務などを行っている株式会社マックスサポート(本社:鳥取県米子市)が、荒尾市大島にコールセンターを新設することとなり、村井県新産業振興局長立ち会いのもと、市と進出協定を締結しました。ことし3月からの操業開始を予定しています。市役所で行った調印式で、同社の平井社長は、「これまでの経験を生かして、地域に根差した事業所にしたい」とあいさつをし、浅田市長は「地域活性化につなげたい」とあいさつしました。